



導入された高規格救急車と救急救命士



内部には最新の医療器具を配備

11月1日より、せたな消防署において救急救命士による高規格救急車の運用が開始されました。

徐細動器（AED）、心電図、高機能吸引器、人工呼吸器、全身固定具（バックボード）などの最新の医療器具を配備した高規格救急車の導入により、輸液セット、器具による気道確保（ラリングルマスクなど）などといった救急救命士による高度な救急活動が可能となり、町民皆さんに高度な救急活動と質の高い

医療を提供できるようになりました。

この高規格救急車は檜山管内で江差消防署に次いで2台目。せたな町では初めての高規格救急車となります。

編集後記

▼初めての広報という事で、まだまだ不慣れな内容ではございますが、心を込めて編集していきたいと思っております。先輩広報マン・ウーマンの方々にご指導頂きながら「かゆいところ」に手の届く広報ウーマン」を目指して頑張りますので皆様の温かいご協力の程、宜しくお願い申し上げます。（一）

▼今回、乾さんの初広報ということでしたが、国勢調査の最終確認に追われ、なかなかお手伝いに行けず申し訳ありませんでした。先日、久々に風邪で寝込みましたが、よく考えるところ二日酔い以外では数年前のインフルエンザ以来のダウンになるかと思えます。幸い半日寝込んで復帰（意外と軽症）できましたが、久々の病気で改めて健康の大切さを思い知らされた気がします。ちなみに寝込んだ日の午前中に撮ったのが上の高規格救急車の写真です。その日は猛吹雪でした！（〇）

▼11月から大成区では恒例のバレーボールのリーグ戦が始まり、今年もSUPER000のチームで参加している私ですが、毎年のことながら「体が重い！」と感じています。去年は準備勝したのに、今年はどうなることやら…チーム名もぼちぼち変えてもらおうかと思っています。（㊁）

